



地域手作りの祭りを満喫

わくわく広場のぼりべん2013

7/
13-14

7月13日(出)・14日(回)、登別公民館前の市道に設けられた特設会場で『わくわく広場のぼりべん2013』(トイ・トイ・きつとつまくいくべさー) (同実行委員会主催) が開かれました。この催しは、登別地区の市民が中心となつて毎年開催されている夏祭りで、会場が昨年までの登別ビーチパーク(登別マリンパークニクス前)から変更になりました。夏らしい晴天に恵まれた祭りは、登別小学校オニッコマ―チングバンドの演奏で開幕。会場には露店が立ち並び、登別市の姉妹都市・宮城県白石市の物産や白石市のみそを使ったおでんが販売されたほか、ステージでは、太鼓の演奏やダンス、ゆかたコンテスト、漫才、路上プロレス、ピョンゴ大会など多彩な催しが行われ、参加した大勢の市民は、笑顔で地域手作りの祭りを楽しんでいました。



▲誓いの言葉を読み上げる横山やこさん(幌別中学校3年生) (左)

立ち直りを支える地域の力

社会を明るくする運動

7月9日(火)、幌別中学校で『社会を明るくする運動』(同運動登別地区推進委員会主催)が行われ、法務大臣と北海道知事から寄せられたメッセージが伝達されました。

この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くために、毎年行われています。

幌別中学校の生徒を含む約300人の参加者は、誓いの言葉を唱和し、犯罪や非行のない地域づくりへの意識を新たにしました。

7/
9

全国大会で上位を狙う

浪岡 菜々美（なみおか ななみ）さん全国大会出場報告

7月12日(金)、登別ジュニアソフトテニスクラブに所属する浪岡菜々美さんが市役所を訪れ、昨年に続き2度目となる全国大会への出場を報告しました。

浪岡さんは中戸川愛佳さん（札幌市在住）とペアを組み、5月に開催された『第35回北海道小学生ソフトテニス選手権大会』で優勝し、全国大会出場を決めました。「全国大会では、チャンスボールをしっかりと決め、ベスト8入りを狙いたいです」と、浪岡さんは抱負を語りました。



▲全道大会の優勝カップを手にする浪岡さん

7/12



▲流しそうめんを楽しむ参加者

早く流れてこないかなあ

流しそうめん

7月3日(水)、登別子育て支援センターで『流しそうめん』（市主催）が行われ、参加した30組の親子が、小雨の降る中、一足早い夏の風物詩を楽しみました。

子どもたちは、5本の雨どいをつなげて作られた流しそうめん台に流れるそうめんに箸やフォークを使って一生懸命すくい取りました。

30人分用意されたそうめんは、あっという間に完食され、子どもたちのお腹を満たしました。

7/3

楽しみながらエコ体験

リサイクルまつり'13イン登別・白老

7月7日(日)、クリンクルセンターで『リサイクルまつり'13イン登別・白老』（登別市・白老町主催）が行われ、炎天下の中、市民など約2千人が来場し、にぎわいました。

今年も堆肥がもらえる『クリンクルスタンプラリー』が好評で、開始から1時間ほどで、500人分用意したスタンプカードの配布は終了しました。

会場では、小型家電の回収やフリーマーケットが行われ、リサイクルに対する意識の向上を促していました。

また、遊びを通じてエコ体験ができる『ペットボトル風車工作教室』や『釣り大会』、昔の遊びが体験できる『凧作り工作』や『竹とんぼ工作』など多彩な催しが、親子連れを楽しませていました。



▲釣り大会（上段右）、ペットボトル風車工作教室（上段左）、フリーマーケット（下段）の様子

7/7